

法人概要

名 称	一般社団法人 読書認定協会
所在地	神奈川県藤沢市辻堂元町 5 丁目 7 番 3 号
設 立	2016 年 11 月 17 日
代表理事	神部 ゆかり
理 事	杉本 啓子、 野澤 直美

読書するきっかけに

読Qは、あなたの読書歴を証明する、ウェブ検定級です。

英検や漢検のように、もしも読書歴が資格として認められるようになれば、

それは人々がもっと読書するきっかけになる、と考え、このシステムを考案しました。

ストーリークイズに答えて本を読んだことを証明し、その記録を積み重ねることで、級が上がります。

ストーリークイズは利用者みんなで作っていきます。

読Qを使って、共に読書と読書推進をしていきましょう。



代表理事 神部 ゆかり

A I の時代に、人間にしか担うことのできない能力は何でしょう。それは思考・判断力、広い視野、共感力、情緒、芸術…等々、多岐にわたる教養ではないでしょうか。これらは、読書によって培われると言っても過言ではありません。読書は、著者の思考の疑似体験であり、優れた人の話す話をじっくりと聞くようなものです。そのような体験を重ねると、自分の頭で考え、適確な判断をする力が高まります。著名な方々が例外なく沢山の本を読んできていることから、それは明らかです。もしかしたら、今は恵まれない環境にある人も、読書をして思考力を高めることで、いつか状況を変えることができるかもしれません。そのようにして困難を克服した方もきっといらっしゃるでしょう。

そんな思考力や教養、これらは目に見えませんが、読書履歴によって、ある程度は証明できると思いませんか。例えば特定分野の読書歴が多いことを証明できれば、専門家を名乗れるかもしれません。専門家として自説を公開し、人々を説得できるかもしれません。また、もしあなたが経営者なら、良い本や必読書をたくさん読んでいる人を迎え入れたいと考

えるのではありませんか？読書履歴は、誇るべき資格となり得ます。検定級として証明できる形にして、たくさん読書をしていることをアピールできるようなシステムがあったら良いのではないのでしょうか。

このような考えから、人々が読書をするきっかけを作り、読書を推進する、「読Q」を発案しました。読Qは、日本語で読書できる全ての人を対象としたウェブ受検システムです。本のストーリーに関する〇×クイズに合格して、読了の証明を得て級を上げます。読書(合格)履歴を公開したり、ランキンググラフなどで読書量を競争することもできます。読書認定書を発行して読書履歴を提出することもできます。学校利用では一斉受検にも対応しており、クラス内、クラス対抗、学校対抗ランキングなどによって読書意欲を高めることができます。また、将来は、蓄積したデータが、読書と知能の相関関係などの研究に一役買うこともあるかもしれません。

と、大きなことを言いましたが、すみません、私は、3人の子育てが終了し、第二の人生に社会貢献活動をしたいだけの平凡な主婦です。そんな私がいきなり、星の数ほどある書籍の検定クイズを用意し、ウェブ検定の完成形を作れるはずがありません。

読Qは、システム開発会社様にお願いしてシステムは完成しましたが、コンテンツがまだ入っていない状態です。コンテンツをみなさんに作っていただきつつ検定も実施するという、みんなで作ってみんなで受ける検定です。小学生もお年寄りも、みんなクイズを作れます。みなさんが本を選び、クイズ問題を作り、監修者会員の方がクイズを選定します。読Qは読書推進活動であり、読書推進は社会貢献活動の1つです。みなさんが検定クイズを作ることは、社会貢献活動になります。クイズ作成者と本の登録者は、読了ポイントを通常より多く獲得できる上に、功績の証として、読Q本ページに本名か読Qネーム(ID)が掲載され続けます。

ぜひ読Q本にする良書を選び、登録して、クイズを作りましょう。クイズはスマホで作って送信できます。ベッドの上でもできるボランティアです。あなたの読書を社会貢献にしてください。

そして、その検定クイズに合格して読級を上げ、合格履歴を公開して、あなたの教養を証明しましょう。

ボランティアと言えば、読Qでは、低所得家庭のお子さんの会費を肩代わりする、あしなが援助金という制度があります。月100円の会費を200円にするだけで、1人のお子さんの読書活動を応援することができます。名前非公開ですが、そのお子さんの読書活動を垣間見ることも可能です。

読Qは初めての試みで試行錯誤の連続であり、不十分な点が多々あるかと存じます。会費や広告掲載収入などはシステムの維持運営費に充てさせていただいておりますが充分ではないため、機能の修正など時間がかかることもあるかと存じます。また少人数運営のためご不便をおかけする場合がありますかもしれません。本当に申し訳ございません。今後も皆さまからのご指導ご鞭撻と、温かいご支援ご協力をいただき、みなさまとともにぜひ、現存する全ての本の検定クイズを作る勢いで、読Qをより社会に有用な読書推進システムへと成長させ、みなさまのお役に立てたなら、本当に幸せです。

読Qをどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人読書認定協会

代表理事 神部 ゆかり



理事 杉本 啓子

初めて読Qの構想を神部から聞いた時、私はとても驚きました。自分の読書履歴を正当に評価してもらえるシステムなど聞いたことも無く、調べてみましたがおそらく世の中で初めてだろうと確信したからです。そんな高尚な検定級のシステムを私たちで作ろうとお誘いを受けた時、とてつもなく世界が広がって行くのを感じました。

もともと私も読書に救われてきた人間でしたので、彼女と作り上げるこのシステムによって、きっと読書を好きになる人が増え、色々な分野で賢くなる人が増え、読書が人生の救いになる人もいて、世の中がもっともっと良くなるかもしれない、と思えました。それに、これは日本だけに留まらず、海外在住の日本の方々や、日本語を本気で学びたい外国の方々のお役にも立てる素晴らしいウェブサイトだと思いました！

私たちが考案した読Qは、人々にとって有益な検定にするために、詳細を作り込んでいます。読Qでは、簡単な本と難しい本、薄い本と厚い本では、得られる読了ポイントが大きく違います。読Qの読書認定級は、本の登録に時間をかけるので、読書の量と質を正当・公平に評価・証明できます。

そして読Qは、読めば読むほど、受検すればするほどお得です。それは、システム利用料としての会費が毎月100円（年額1000円）の定額制なので、本を多く読んで多く受検する人ほど、1回分の受検料が安くなる計算です。

こだわったのは、ウェブでの受検であっても、正式な検定として世の中に認めてもらうために、試験監督ボランティアによる受検見守りで、不正合格を防ぐことを必須としたことです。読Qの検定は、スマホやタブレット、PCでの、5分程度で終わる〇×クイズです。それを、家族以外の20歳以上の会員が試験監督としてそばで監視します。受検者と試験監督両方が顔認証で本人確認する点や、ウェブならではのランダム出題も、会場受検に劣らない検定システムだと自負しております。その上、例えば万が一、とある試験監督が受検者の不正を許したとしましょう。しかしながら読級は合格ポイントを積み上げていく息の長い検定級ですし、同じ本の検定は時間を置けば何度でも受検できますので、検定1回1回の重要度はさほど高くないと言えます。受検記録は試験監督名とともに残ります。読書を証明する検定は、ウェブで実施することが正解だと、私たちは確信しています。

このように読Qは、「人々が読書するきっかけ」となることを目指して、機能満載の検定＆読書推進システムに仕上がりました！

まだ産声をあげたばかりのシステムですが、読Qを使って、ぜひ、自分たちで自分たちを成長させて行きましょう！
読Qを、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人読書認定協会

理事 杉本 啓子

私たちが感銘を受けた、読書をすすめる著名人のことばを紹介します。

人との、また物ごととの出会いは、大切なものです。本を通して先人とも出会えます。(中略)そういうあらゆる体験を通して人間は発達成長します。そうすれば、あとは自分で自分を開発することができるのです。

日野原重明さん「今日すべきことを精一杯！」ポプラ新書より

読書を代表とする疑似体験は、実体験に比べれば概して深さも強烈さもはるかに小さく、人間の教養を豊かにする力としては微々たるもの、という声が聞こえてきそうです。(中略)でも、自ら求めさえすれば実体験の百倍に上る回数を体験することも可能です。そうすれば実体験だけの人に比べ十倍の教養を得ることができることになります。特に疑似体験の柱となる読書なら時間も金もさほどかかりませんから、いくらでも重ねることが可能です。

藤原正彦さん「国家と教養」新潮新書より

幅広くいろいろな本を日頃から読み、仕事と真剣に向き合っている人は、自分の考えや信念を持っているから、安易に空気に流されるようなことはないはずです。読書は心を自由にしてくれます。読書によって自分の考えが練られ、軸ができれば、空気を中心に思考したり行動したりすることはなくなるはずです。世間の常識や空気に囚われない、真の自由を読書はもたらすのです。

丹羽宇一郎さん「死ぬほど読書」幻冬舎新書より

(読書は)思考力を鍛え、人間をつくるものだ。(中略)私は自分の思考力の重要な部分を読書経験に負っていることをはっきりと感じている。したがって、読書をするきっかけを与えてくれた親や教師、周りの環境に感謝している。読書は放っておいても自然にするものだ、などということは大きな勘違いだ。

齋藤孝さん「読書力」岩波新書より

脳にとって読書は、総合的かつ抽象的な刺激。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五感の記憶が総合されて、それが言葉になるので、言葉をとおして世界を知る、整理するというのは、脳のいちばん高度な働き。

茂木健一郎さん「読書が脳に与える良い影響」ベネッセ教育情報サイトより

読書によって人は賢くなることを明らかにした大規模調査結果の記事をご紹介します

2018 年 10 月 18 日(木) NEWSWEEK 日本版 松丸さとみ

31カ国、16万人を対象に行われた調査で、16歳のときに本が家に何冊あったかが、大人になってからの読み書き能力、数学の基礎知識、IT スキルの高さに比例することが明らかになった。

自宅に紙の本が何冊あったかが一生を左右！？

16歳の時に家に本が何冊あったかは、大人になってからの読み書き能力、数学の基礎知識、IT スキルの高さに比例することが、このほど行われた大規模な調査で明らかになった。研究者らは、「子どもの頃に自宅で紙の本に触れることで、一生ものの認知能力を高めることができる」としている。

調査を行ったのは、オーストラリア国立大学とミネバダ大学の研究者たちだ。2011～2015 年に31の国と地域で、25～65歳の16万人を対象に行われた「国際成人力調査」のデータを分析した。結果は学術誌ソーシャル・サイエンス・リサーチに発表されている。英ガーディアン紙が2018 年 10 月 10 日付と 12 日付で報じた。

調査では、16歳の時に自宅に何冊本があったか、と参加者に質問。その後、読み書き能力、数字、情報通信技術(ICT)のテストを受けてもらった。

その結果、本がほぼない家庭で育った場合、読み書きや算数の能力が平均より低かった。自宅にあった本の数とテストの結果は比例し、テストが平均的な点数になるのは自宅に80冊ほどあった場合だった。ただし350冊以上になると、本の数とテスト結果に大きな関係性はみられなくなったという。〈以下省略〉